



～12月の全校朝会の話～

みんなちがって みんないい

あべまきの「木」などの植物の「木」の漢字を書いてみましょう。同じ、この「木」の漢字を書いたと思います。では、今度は、木の絵を頭の中で描いてみましょう。どんな形かな、どんな色かな。自分が考える「木」を描いてください。どんな木が描けましたか。①のような木を描いたひとがいるでしょう。ほかにも、②みたいな木を描いた人はいますか。③、④みたいな木の人もいたかもしれません。

どれが正解でしょうか。どれも正解です。



1人1人、見方や考え方は違います。違いがあるのは、当然のことです。相手との違いを認め合うのはとても大切なことです。違いを笑ったり、違いを大切にしなかったりすると、差別する心が出てきます。少し仲間と違っているからといって、ちょっとうまくできないからといって友達を差別したことはありませんか。これがいじめにつながります。1人1人、顔も、背格好も、性格も、考えていることも違います。相手の違いを認める子供、友達の「あなたらしく」を大切にする子供になってほしいと思います。

「人権集会」～城島淳二さんをお招きして～（12月4日）

- 各学級で考えた人権標語の発表
- 「人権とは」についての話
- 城島さんの講話

各学級の人権標語の発表の後、「人権とは、だれもがもっている幸せになるための権利」であり、自分の人権も周りの人の人権も守ることの大切さについての話がありました。そして、「〇〇な障がい者の会」

の城島さんの講話を聴きました。城島さんは普段車いすを使って生活されています。一昔前に比べて社会の意識が高まり、随分環境や設備が整えられ、過ごしやすくなったそうです。しかしながら、スロープがあってもかなり遠回りしなくてはならず時間がかかったり、不適正に駐車した車のため優先駐車場が使えなかったり、点字ブロックの上に自転車が停まっていた目が不自由な方が通れなかったり・・・と困ったこともあるそうです。改めて、「相手の立場に立って考える・想像する」「何に困っているか、コミュニケーションをとる⇒行動する」ことの大切さを感じました。実行するには勇気も必要ですね。

裏面に、子供たちの感想の一部を紹介していますのでご覧ください。

この人権集会も、運営集会委員会の子供たちがはきはきとしつかり会を進行しました🌸



☆学級の人権標語は職員室前廊下に掲示しています。授業参観の折などに、どうぞご覧ください。☆

○「よりよい学校づくりのためのアンケート」へのご協力ありがとうございます。
リーバーで配信しておりますので、まだの方はご回答をよろしくお願いします。

3年生 総合の学習「ふるさと探訪」

3年生は、総合の学習で「地域（故郷）」をテーマに学んでいます。12月8日、3時間かけて仁比山の名所である水車の里遊学館⇒伊東玄朴生家⇒仁比山神社を巡りました。それぞれの場所で市役所の方や宮司さんから説明を受けました。熱心に聞きながらメモを取っている子供もいました。校区内とはいえ、初めて訪れたという子供もいれば、夏休みはよく遊びに来たという子供もいました。自分たちの地域の名所や偉人について学び、学校目標にある「ふるさとを愛し」誇りをもつ子供に育ってほしいと願っています。水車の里遊学館の池田様、神崎市文化・スポーツ課の谷様、仁比山神社の朝日様、貴重なお話をありがとうございました。



薬物乱用防止教室（6年生）「ダメ!ゼッタイ!!」 ～千代延先生、ありがとうございました～

10日、6年生に向けて薬物乱用防止教室を行いました。講師は防煙教室に続いて学校薬剤師の千代延先生です。映像とお話で、薬物には多くの種類があることや治療のためには適切に適量を使うのが大切であること、逆に興味本位で麻薬に手を出したり薬剤を過剰摂取したりすることによって中毒や命の危険もあることなど薬物の恐ろしさについて学びました。みんな真剣な表情で聞いていました。意外と身近に潜んでいるといいます。「大切な自分を守る意志」「近づかない」「断る勇気」が必要です。



人権集会 ～子供たちの感想から～

- （1年） たすけてほしいのか、きいたりするのがだいじだとしなかったししたこともないので、がんばってみます。
- （2年） 2年1組みんなで決めた「言われていやなことばを言わない。友達を大切にするみんなやさしい2の1」のようにこれからも頑張りたいです。私も人の気持ちを考えられるような人になってみたいです。
- （3年） 車いすを使っている人がこまっていたら助けたいと思いました。こまっている人がいたら声を掛けられるのを待たないで、自分から声を掛けようと思いました。
- （4年） しょうがい者だけ特別あつかいしないこと、りかいするじゃなくてよりそうことが大切だと分かりました。3年生の時ふくしたいけんをして車いすにのったりおしたりしました。押している人も大変と分かりました。
- （5年） 動画を見て、「見える優しい気持ち」と「見えない優しい気持ち」があると知りました。私も、こまっていたら助けてあげたいし見守ってあげたいと思いました。これからも差別をせずに生きていきたいです。
- （6年） 障がい者は特別ではないと言っていたのはすごく納得しました。支える優しさはしてきたけど見守る優しさはあまりしてこなかったのがこれからはしていきたいです。僕も動画の人を見習って、見守る優しさ支える優しさをみんなに使ってみんなが楽しく苦しむことなく平和に暮らすために頑張ります。